

入学試験問題

国 語

100点満点（50分）

（注意）

1. 問題冊子及び解答用紙は指示があるまで開かないこと
2. 問題は一～四、解答用紙は別紙
3. 試験開始後、問題冊子表紙・解答用紙に受験番号を記入すること
4. 試験終了後、問題冊子・解答用紙ともに回収

受 験 番 号

一、次の文章を読んで後の問いに答えなさい（字数指定問題において、句読点や「」は字数に含むものとする）。

さて、日本語に関する※さまざまな知識を質問させていただいたが、みなさんの解答はいかがだっただろうか。知っているつもりでも、あらためて聞かれると、首をひねってしまうことも多かったのではないかと思う。

私たちの使っている言葉は、そのくらい複雑で、あいまいで、A どんどん変化していくものである。しかし、基本になっていることもいくつかある。

本章では相手にわかりやすい説明のしかた、B 相手を引き付ける話し方などについて、いくつか述べてみたいと思う。ただ何ぶん私が老齡のため、挙げた例の中で多少昔の話も出てくるが勘弁していただきたい。① みなさんがふだん会話をしていくうえでの参考になれば幸いである。

何年前か、私の身の回りの世話をしてくれる若い人を探すために、簡単な面接試験をしたことがある。「ア」そのとき、今の若者の話し言葉を聞いて、気づいたことが三つほどあった。

一つは、② すっかり定着してしまった語尾を長く延ばす言い方についてだ。

「それでエ、私はア、今の会社を辞めたんですけれどもオ…」

と、際限なく引っぱってゆく。これは聞いていて、やはり大変聞きづらい。そしてせっかく内容はきちんとしたことを話していても、語尾にしまりがないために、内容まで幼稚っぽく聞こえる。はなはだ損な話し方だ。

なぜこうした話し方をするようになったのだろうか。一つは、ひと頃猛烈な勢いで学生たちの間に吹き荒れた学生運動の※アジ演説の影響だろう。

「我々ワア、断固としてエ、国家権力にイ・・・」という、あの話し方である。あれはマイクを持って絶叫調で話すとき、言葉をつなげると聞き取りにくいので一つ一つの文節で切り離す。C ああした言い方になったのだろう。

しかし学生運動が過去の話になった今、それだけが原因ではないだろう。私が思うに、戦後国語教育の現場教師の間で「ネ・サ・ヨ反対運動」がおきた。その影響があると思う。「ネ・サ・ヨ」というのは、語尾に、

「私がサ、学校に行ったらネ・・・」

というように、語尾に「ネ・サ・ヨ」をつけて話す。語の切れ目を引っぱることで、常に相手の注意を自分に引きつけたい、まだここで話が終わっていないのですよ、と相手に訴える効果を出しているのである。

こういう語尾につける言葉は日本語には昔からあり、また全国の方言にもある。「のし」「なも」「なあ」などがそうだが、古くは「春雨や」の「や」もそうだ。^③なぜ日本語にはこうしたものがあるのかというと、例えば英語では相手の注意をそのまま引きつけたいときは「ワンダフル」を「ワーンダフル」というように強めたいところを長く延ばす。そして延ばしても意味が変わらない。【イ】

しかし日本語では「最高」を「サーイコウ」と引っぱると。【い】という別の意味に取られてしまうことがある。従来の意味が変わってしまいうために、文節の途中で延ばすことはできないのだ。また特に関東地方あたりでは、言葉を歯切れよく話すことが美しいとされていて、全体の音が「ポップポップ・・・」と聞こえるように短い点のように発音する。こうした話し方だと、文節で区切れるところに何かを持ってこない、話している方は心理的に落ち着かなくなるようだ。【ウ】

だから、「ネ・サ・ヨ」が必要だったのだが、それをやめよう、ということとで代わりに「私はア」と語尾を延ばす話し方が生まれてきた。そうすると「ネ・サ・ヨ」を廃止しようとするのが果たしてよかったのかどうか、私としては疑問を感じるところである。

若者の話し言葉で気になる二番目はやはり敬語の使い方であろうか。「おっしゃる。召し上がる」などの敬語の使い方難しいが、もっと大変なのは、例えば上司に「今日は^④ご苦労さまでした」などと言ってしまう。

「ご苦労」は本来目下の人をねぎらう言葉で、目上の人には「ろ」の方がいいだろう。

三番目に気になる点は、省略言葉である。日本人は使い慣れた言葉は大変簡単に言う。たとえばTV局に行つて場所を聞くと「それはサנסタです」と言う。サנסタとは第三スタジオのことだ、と解釈するまでにだいぶ時間がかかる。

テレビ出演の依頼電話がかかってきて、いきなり「イーストです」と名乗る。【エ】そう言われても、出版社なのか、テレビ会社なのか、証

券会社なのか見当がつかない。以前に何回かやりとりをしたことがあっても、私は八〇歳を超えモロクしていることが相手はわかっていない。

省略する癖は今に始まったことではなく、昔行った面接でも「フチュウを卒業しました」と言われて困ったことがある。フチュウと言えば「※府中」しか思い浮かばないが、相手は富山中学、略して富中のことを言っているつもりだ。

言葉にはぞんざいに言っても通じる言葉と、丁寧にゆっくり言わないと通じにくい言葉がある。「お世話さまです」なんて挨拶は早口でもわかる。

① 固有名詞はたいへんわかりにくい。電話で「和歌山県」を早口で言われると、「岡山県」と混同してしまうこともある。「オ」自分がよく知っている言葉は、当然相手も知っているものと決めてかかっている。

会話をすると、結局相手への配慮をいつも忘れずにいる、ということかもしれない。

語注

(金田一春彦『日本語を反省してみませんか』より)

※ さまざまな知識を質問…本文より前に筆者が読者に向けた質問のこと。

※ アジ演説…人々に特定の感情を持ち特定の行動を起こすように働きかける演説。

※ 府中…東京の市の名前。

問一、
① ② にあてはまる語として最も適当なものを次のア～エより選び、それぞれ記号で答えなさい(同じ記号は複数回使用してはならない)。

ア、たとえば イ、だから ウ、しかも エ、あるいは

問二、——線部①「みなさんがふだん会話をしていくうえでの参考になれば幸いである」とあるが、筆者が考える「会話」に必要なこととは何ですか。

本文中の言葉を用いて十五字以内で答えなさい。

問三、——線部②「すっかり定着してしまった語尾を長く延ばす言い方」について、

1 こうした話し方をするようになった理由を説明したものとして最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、 学生運動の演説で一つ一つの文節を切り離して話していたことの影響を受けたから。

イ、 語尾にしまりを持たせて大人っぽく聞こえるようにするため。

ウ、 戦後、語尾に「ネ・サ・ヨ」をつけることで相手に強く訴えるようになったから。

エ、 言葉を歯切れよく話すために、文節で区切ったり、語尾を延ばしたりすることが必要だったから。

2 「語尾を長く延ばす言い方」について1で選ばれた理由以外で筆者が説明していることを五十字以内で説明しなさい。

問四、——線部③「なぜ日本語にはこうしたものがあるのか」について、

1 「こうしたもの」とは何か本文中より抜き出して十字以内で答えなさい。

2 「日本語にこうしたものがある」理由を本文中の言葉を用いて十五字以内で答えなさい。

問五、 文章の意味が通るように漢字も用いて い に当てはまる言葉を答えなさい。

問六、 ろ には——線部④「ろ苦労さまでした」を正しく言い換えた言葉が入ります。その言葉を答えなさい。

問七、 本文中には「いいかげんに物事をするさま」という意味になる語が使われています。その語を抜き出して答えなさい。

問八 本文中には次の一文が抜けている。この一文が入る最も適当な箇所を本文中の「ア」「イ」「ウ」「エ」より選び、記号で答えなさい。

若い人はえてしてそのあたりの配慮が足りないことが多い。

二、次の古文を読んで後の問いに答えなさい。

(字数指定問題において、句読点や記号は字数に含むものとする。また、設問の都合上、一部本文を改めたところがある。)

うれしきもの。まだ見ぬ物語の※一を見て、①いみじうゆかしとのみ思ふが、残り見いでたる。さて、心劣りするやうもありかし。

人の破り捨てたる文を継ぎて見るに、同じ続きを②あまたくだり見続けたる。いかならむと思ふ夢を見て、恐ろしと胸つぶるるに、ことにもあらず※合はせなしたる、③いとうれし。

よき人の御前に人々あまた候ふ折、昔ありける事にもあれ、今きこしめし、世に言ひけることにもあれ、語らせ給ふを、我に御覧じ合はせてのたまはせたる、④いとうれし。

遠き所は⑤更なり、同じ都の内ながらも隔たりて、※身にやむごとなく思ふ人の悩むを聞きて、いかにいかにと、おぼつかなきことを嘆くに、おこたりたるよし、消息聞くも、⑥いとうれし。

思ふ人の、人にほめられ、⑦やむごとなき人などの、口をしからぬものに思しおぼのたまふ。

ものの折、もしは人と言ひかはしたる歌の、聞こえて、※打聞(うちぎき)などに書き入れらるる。みづからの上にはまだ知らぬ事なれど、なほ思ひやるよ。

⑦※いたうち解けぬ人の言ひたる古き言の知らぬを、聞き出いでたるも、うれし。後に、物の中などにて見いでたるは、ただをかしう、これにこそありけれど、かの言ひたりし人ぞ、をかしき。

語注

(『枕草子』より)

※ 一：一冊目。一卷目。

※ 合はせなしたる…夢うらないをすること。

※ 身にやむごとなく思ふ人…自分にとって大切な人。

※ 打聞：歌に関わる事柄を記したもの。

※ いたううち解けぬ人：あまり親しくない人。

問一、——線部①「いみじう」、②「やむごとなき」をそれぞれ現代かなづかいに直しなさい。

問二、——線部③「あまた」、④「更なり」の本文中の言葉の意味として最も適当なものを次のア～エより選び、それぞれ記号で答えなさい。

② ア、すべて イ、あまりに ウ、数多く エ、偶然

⑤ ア、いうまでもない イ、より一層 ウ、そうではないが エ、わからないが

問三、——線部①「ゆかし」は「見たい、知りたい」という意味だが、何を「見たい・知りたい」というのか。次の空欄に入る言葉を本文中より一語で抜き出して答えなさい。

□の残り

問四、——線部③「いとうれし」について、筆者は何について「いとうれし」と言っているのか。最も適当なものを次のア～エより選び、記号で答えなさい。

ア、人が破り捨てた手紙の続きを、次々と最後まで読むことができたこと。

イ、どうなるかわからなかった手紙の続きがわかり、つじつまが合ったこと。

ウ、どうなってしまうのかという怖い夢を見て、目が覚めた後にそれが夢だとわかったこと。

エ、どういう意味かと思う怖い夢を見たが、大したことでないという夢判断を受けたこと。

問五、——線部④「いとうれし」と筆者が思う理由を説明した次の文の空欄に該当する箇所を、本文中より十字以内で抜き出して答えなさい。

身分の高い人が、昔のことや今評判になっていることを□おっしゃってくれたから。

問六、——線部⑥「いとうれし」と思った理由を二十五字以内で説明しなさい。

問七、——線部⑦「いたうち解けぬ人の言ひたる古き言の知らぬを、聞き出でたるも、うれし」から読み取れる筆者の資質として最も適当なものを、次から選び、記号で答えなさい。

- ア、向上心 イ、自尊心 ウ、内向性 エ、積極性

三、次の文章を読んで後の問いに答えなさい（解答では同じ記号を複数回使用してもよいこととする）。

人間が心に思うことを他人に伝え知らしめるのには、いろいろな方法があります。たとえば、^①悲しみを訴えるのには、悲しい顔つきをしても伝えられる。物が食いたい時は手真似で食う様子をして見せても分かる。その外、^②泣くとか、うなるとか、叫ぶとか、にらむとか、嘆息するとか、なぐるとかいう手段もありまして、^③急な、激しい感情をひと息に伝えるのには、^④そういう原始的な方法の方が適する場合がありますが、しかし、やや細かい思想を明瞭に伝えようとすれば、言語によるより外はありません。言語が、^⑤ないといふようなに不自由かということは、日本語の、^⑥通じない外国へ旅行してみると分かります。なおまた、言語は他人を相手にする時ばかりでなく、ひとりで物を考える時にも必要であります。われわれは頭の中で「これをこうして」とか「あれをああして」とかいう風に独りごとを言い、自分で自分に、^⑦言い聴かせながら考える。そうしないと、自分の思っていることがはつきりせず、まとまりがつきにくい。みなさんが算術や幾何の問題を考えるのにも、必ず頭の中で言語を使う。われわれはまた、孤独を紛らすために自分で自分に話しかける習慣があります。強いて物を考え、^⑧よいとしないでも、独りでぼつねんとしている時、自分の中にあるもう一人の自分が、ふとささやきかけて、^⑨来ることがあります。それから、他人に話すのでも、自分の言おうとすることを一度心で言ってみて、しかる後に口に出すこともあります。

（谷崎 潤一郎『文章読本』より）

問一、——線部①～⑨について、その単語の品詞名を次のア～コより選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、名詞 イ、動詞 ウ、形容詞 エ、形容動詞 オ、副詞

カ、連体詞 キ、接続詞 ク、感動詞 ケ、助動詞 コ、助詞

問二、——線部①～⑨の動詞の活用の種類を次のア～オより選び、それぞれ記号で答えなさい。また、その活用形もそれぞれ正しい漢字で答えなさい。

ア、五段活用 イ、上一段活用 ウ、下一段活用 エ、カ行変格活用 オ、サ行変格活用

四、次の①～⑩について、――線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい（なお、送りがなは不要とする）。

- ① 志望校のセンタクで随分と悩んだ。
- ② エイカンが頭上に輝く。
- ③ ロウカを走ってはいけません。
- ④ 峠道でホウラク事故が起きた。
- ⑤ 雑誌の付録についていた懸賞にオウボする。
- ⑥ 濃紺のブレザーを身にまとう。
- ⑦ 罪を赦免されることになった。
- ⑧ 暫定予算を組む。
- ⑨ 他人の粗を捜す。
- ⑩ 寡もたけなわになってきましたが、歓迎会を終了いたします。

――以下余白――